

海運（船舶）利用の概況

定期航路利用の概要

（国内）

（単位：千人、千台）

区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
離島航路	旅客数	4,089	3,948	3,904	3,880	3,743
	車両数	390	377	354	379	361
本土間航路	旅客数	2,082	2,050	2,083	2,260	2,562
	車両数	613	614	582	641	603
計	旅客数	6,171	5,998	5,988	6,140	6,305
	車両数	1,003	991	937	1,020	964

注）平戸、福島、天草の航路を離島航路に含む。

（国際）

（単位：人）

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
対馬～釜山航路利用者数	118,420	138,874	326,723	375,766	384,364

本県における国内定期航路数は平成27年10月現在43航路あり、このうち離島定期航路数は37航路である。

定期航路の平成26年度利用状況は、旅客数が6,305千人で対前年度比2.7%増加しており、このうち離島航路は3,743千人で対前年度比3.5%減少した。車両航送台数は964千台で対前年度比5.5%減少しており、このうち離島航路は361千台で対前年度比4.7%の減少となった。

本県では、離島地域住民の経済的負担の軽減と交流人口の拡大を目的として「離島地域交流促進基盤強化事業」により、新船建造（船舶リプレイス）の支援を行っている。

過年度の実施状況

長崎～五島航路	「万葉」	（23年 4月就航）
長崎～五島航路	「椿」	（24年12月就航）
博多～壱岐～対馬航路	「フェリーきずな」	（24年 4月就航）
長崎～五島貨物航路	「フェリーさくら」	（26年 3月就航）
福江～青方～博多航路	「太古」	（26年 7月就航）

大規模改修リプレイス事業で実施

長崎～鯛ノ浦航路	「びっぐあーす2号」	（26年 3月就航）
----------	------------	------------

また、国際定期航路が、長崎県対馬市の厳原～釜山間、比田勝～釜山間において運航されている。厳原～釜山間においては大亜高速海運の「オーシャンフラワー」と未来高速の「コビー」が運航されており、比田勝～釜山間においては大亜高速海運「オーシャンフラワー」とJR九州の「ビートル」並びに未来高速の「コビー」が運航されている。平成26年度の利用者数は384,364人で対前年度比2.3%増加しており対馬の地域振興と、韓国との交流人口の拡大に寄与している。

（県新幹線・総合交通対策課）